

# 安全データシート (SDS)

< リボンカートリッジ >

RBC-21-001

RBC-22-001

< インクリボン(詰替え用) >

IRB-21-006

IRB-22-006

< 適用機種 >

MICROLINE 5460HU2

MICROLINE 8460HU2

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

製品名 : RBC-21-001 (ML5460SU2)  
           : RBC-22-001 (ML8460SU2)  
           : IRB-21-006 (ML5460SU2)  
           : IRB-21-006 (ML8460SU2)  
           (インク: #53)  
  
 会社名 : 株式会社沖データ  
 住所 : (〒370-8585)群馬県高崎市双葉町 3-1  
 担当部門 : 技術・生産本部  
 電話番号 : 027-328-6366  
 FAX 番号 : 027-328-6398

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

#### 物理化学的危険性

火薬類 : 分類できない  
 可燃性・引火性ガス : 分類対象外  
 可燃性・引火性エアゾール : 分類対象外  
 支燃性・酸化性ガス : 分類対象外  
 高压ガス : 分類対象外  
 引火性液体 : 区分外  
 可燃性固体 : 分類できない  
 自己反応性化学品 : 分類できない  
 自己発火性液体 : 分類対象外  
 自己発火性固体 : 分類対象外  
 自己発熱性化学品 : 分類できない  
 水反応可燃性化学品 : 分類対象外  
 酸化性液体分類 : 分類対象外  
 酸化性固体 : 分類できない  
 有機過酸化物 : 分類できない  
 金属腐食性物質 : 分類できない

#### 健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 区分外  
 急性毒性(経皮) : 分類できない  
 急性毒性(吸入:ガス) : 分類対象外  
 急性毒性(吸入:蒸気) : 分類できない  
 急性毒性(粉じん) : 分類できない  
 急性毒性(ミスト) : 分類できない  
 皮膚腐食性及び刺激性 : 分類できない  
 眼に対する重篤な損傷性  
 又は刺激性 : 分類できない  
 呼吸器感作性 : 分類できない  
 皮膚感作性 : 分類できない  
 生殖細胞変異原性 : 区分外  
 発がん性 : 分類できない  
 生殖毒性 : 区分外  
 特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露) : 区分外  
 特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露) : 区分外

#### 環境に対する有害性

水生環境急性有害性 : 分類できない  
 水生環境慢性有害性 : 分類できない

# 安全データシート

## ラベル要素

絵表示又はシンボル	: 分類できない
注意喚起語	: 分類できない
危険有害性情報	: 分類できない
注意書き	
安全対策	: 取扱い後は手をよく洗うこと。 保護手袋を着用すること。
応急処置	: 皮膚に付着した場合、大量の水及び石鹼でよく洗浄する。 皮膚刺激が生じた場合は速やかに専門医の手当てを受ける。飲み込んだ場合、水で口の中をよくうがいし、速やかに医師の診断を受ける。
保管	: 直射日光を避け換気の良い冷乾所に保管する。 製品の品質を保つため、保管条件は常温常湿とする。
廃棄	: 当該法規(国・都道府県および地方の法規・条例)に従って廃棄物処理をおこなう。外部に委託する場合は、内容を確認したうえで、産業廃棄物処理業者に委託する。

## 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	: 混合物
一般名	: インクリボン
化学名	:
(インク)	

成分名	含有量(WT.%)	官報公示整理番号	CAS.
エステル油	35.0 - 41.0	(2)-1332 (2)-1341	141-24-2
脂肪酸	31.0 - 36.0	(2)-608 (2)-609	67701-06-8
染料	12.0 - 15.0	(5)-3143 -	8005-02-5 101357-15-7
有機顔料	12.0 - 15.0	(5)-3315	1328-53-6
カーボンブラック	1.0 - 2.0	対象外	1333-86-4

(その他)  
ナイロン 6-6 生地

労働安全衛生法 通知対象物質 : カーボンブラック [1~2%]  
銅及びその化合物 [6~9%]  
ジフェニルアミン [0.55%]

## 4. 応急措置

皮膚に付着した場合	: 大量の水及び石鹼でよく洗浄する。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断 / 手当てを受けること。
眼に入った場合	: 多量の水で洗い、異常がある場合は速やかに専門医の診察を受ける。
吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは、医師の診断 / 手当てを受けること。
飲み込んだ場合	: 医師の診断を受ける
急性症状及び遅発性症状 の最も重要な徴候症状	: 情報なし

## 5. 火災時の措置

消火剤	: 水、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂等
使ってはならない消火剤	: 棒状水
特有の危険有害性	: 燃焼により有害な生成物(二酸化炭素、一酸化炭素)が発生する。
特有の消火方法	: 一般火災と同じ方法を用いる。
消火を行う者の保護	: 火災により一酸化炭素等の有毒ガスや煙霧が発生するので、消火作業の際は適切な呼吸用保護具(送気マスク、自給式呼吸器等)を着用する。

## 安全データシート

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	: 作業の際には適切な保護具を着用する。(『8. 暴露防止及び保護措置』を参照)
環境に対する注意事項	: 流出した製品が河川等へ排出され、環境への影響を起ささないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法・機材	: 乾燥土、砂や不燃性材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。
二次災害防止策	: 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。着火した場合に備えて、適切な消防器材を準備する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体換気	: 適用されない。
安全取扱注意事項	: 品質保護のため、製品破損につながる強い衝撃は避ける。換気の良い場所で使用すること。火気注意。眼、皮膚との接触を避けること。
接触回避	: 『10. 安定性及び反応性』を参照。
衛生対策	: 使用後は手をよく洗うこと。
保管	
技術的対策	: 適用されない。
混触危険物質	: 情報なし。
適切な保管条件	: 直射日光を避け換気の良い冷乾所に保管する。製品の品質を保つため、保管条件は常温常湿とする。
安全な容器包装材料	: 製品使用容器に準ずる。

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	: 設定されていない。
許容濃度	: 日本産業衛生学会 カーボンブラック 1 mg/m <sup>3</sup> (吸入性粉塵)、4 mg/m <sup>3</sup> (総粉塵) ACGIH カーボンブラック TWA 3.5 mg/m <sup>3</sup>
設備対策	: 空気中の濃度を暴露限界以下に保つために排気装置を使用する。
保護具	
呼吸器の保護具	: 換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。
手の保護具	: 不浸透性手袋、ゴム手袋
眼の保護具	: 保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	: 長袖作業衣。
衛生対策	: 取扱い後は手を洗うこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など	: 黒色インクを含浸させたナイロン 6-6 生地
臭い	: 無臭
臭いのしきい(閾)値	: データなし
pH	: データなし
融点・凝固点	: データなし
沸点、初留点及び沸点範囲	: データなし
引火点	: 202 (クリーブランド開放式) [類似製品データ]
蒸発速度	: データなし
燃焼性(固体、気体)	: データなし
爆発範囲	: データなし
酸化性	: 一般的な貯蔵・取扱いにおいては無い。
蒸気圧	: データなし

## 安全データシート

蒸気密度	: データなし
比重(相対密度)	: 約 1.0
溶解度	: 水に対して難溶
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
粘度(粘性率)	: データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: 一般的な貯蔵・取り扱いにおいては無い。
科学的安定性	: 常温下での一般的な貯蔵・取り扱いにおいては安定。
危険有害反応可能性	: 一般的な貯蔵・取り扱いにおいては無い。
避けるべき条件	: 高温、熱、閃光、裸火または着火源。
混触危険物質	: 情報なし
危険有害な分解生成物	: 火災時の燃焼により一酸化炭素、二酸化炭素などの有害ガスが発生する。

## 11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: (ラット) LD50 15400 mg/kg [カーボンブラック] (ラット) LD50 >39.8 g/kg [エステル油中の成分]
急性毒性(経皮)	: データなし
皮膚腐食性・刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷性 又は刺激性	: データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: Ames 試験において陰性 [類似製品データ]
発がん性	: インクに含まれるカーボンブラックは IARC グループ 2B に該当する。
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	: データなし
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	: データなし
吸引性呼吸器有害性	: データなし
その他(カーボンブラックについて)	
変異原性	: in vitro 変異原性試験にて明確に陽性が出ているデータはみあたらない。in vivo 遺伝毒性試験(ラット肺胞細胞の DNA 付加体形成試験およびラット肺胞細胞 hprt mutation 試験)で陽性結果が報告されている。ただし、この報告は肺への過剰負荷曝露に起因するとの新しい見解が示されている。これは、カーボンブラックを高用量で与えた時しか発がん性(肺)は見られないこと、この現象はラット特有で同じような条件でマウスやハムスターでは見られていないこと、に基づいている。つまり、カーボンブラックの発がん性に関する過去の実験において雌のラットに特有に見られた肺腫瘍発生は、肺からの沈着粒子クリアランスを上回る曝露濃度にて過剰負荷曝露することによって誘発される炎症やマクロファージの関与する二次的な反応によると見ることが出来る。従って、カーボンブラック自体は突然変異原性に対して陰性である。
慢性毒性・長期毒性	: 北米、英国において多数の労働者に対し、長期間疫学調査が行われたが、「カーボンブラック曝露による心肺系への特別な影響は認められない」との結論が得られている。

## 12. 環境影響情報

生態毒性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生態蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: 情報なし

# 安全データシート

## 13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 当該法規(国・都道府県および地方の法規・条例)に従って廃棄物処理をおこなう。外部に委託する場合は、内容を明確にしたうえで、産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
- 汚染容器及び包装 : 関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

## 14. 輸送上の注意

- 国際規制 : 航空輸送は IATA および海上輸送は IMDG の規則に従う。
- 国連番号 : 該当しない
- 品名(国連輸送名) : 該当しない
- 国連分類 : 該当しない
- 容器等級 : 該当しない
- 海洋汚染物質 : 非該当
- MARPOL73/78 附属書及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 : 非該当
- 国内規制 : 航空輸送は IATA および海上輸送は IMDG の規則に従う。
- 陸上規制 : 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
- 海上規制 : 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
- 航空規制 : 航空法に定められている運送方法に従う。
- 輸送の特定の安全対策および条件 : 火気注意。  
容器に濡れのないことを確認し、転倒、落下、損傷しないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

## 15. 適用法令

- 労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき有害物  
(法令第 57 条の 2、施行令第 18 の 2 条別表第 9)  
カーボンブラック [1~2%]  
ジフェニルアミン [0.5%未満]  
銅及びその化合物 [6~9%]
- 改正労働安全衛生法 (2016 年 6 月 1 日施行) : 名称等を通知すべき危険物及び有害物  
(法令第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 第 1 号、第 2 号・別表第 9)  
カーボンブラック [1~2%]  
ジフェニルアミン [0.5%未満]  
銅及びその化合物 [6~9%]
- 化学物質管理促進法 (PRTR 法) : 名称等を表示すべき危険物及び有害物  
(法令第 57 条第 1 項、施行令第 18 条第 1 号、第 2 号・別表第 9)  
カーボンブラック、ジフェニルアミン、銅及びその化合物
- 毒物劇物取締法 : 非該当
- 消防法 : 第 4 類第 4 石油類 非水溶性液体
- 廃棄物の処理および清掃に関する法律 : 産業廃棄物(廃油)

# 安全データシート

## 16. その他の情報

引用文献 : 原材料メーカーの SDS  
製品評価技術基盤機構(NITE) GHS 分類結果  
日本ケミカルデータベース ezCRIC  
3E Ariel WebInsight

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。すべての化学品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。御使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願いいたします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上で御使用ください。当安全データシートは、日本国内法規を基準に作成したものです。貴社が、弊社当該製品をそのまま、あるいは弊社当該製品を配合し、米国へ輸出する際には、事前に弊社担当者へご連絡お願いいたします。

発行: 2017/03/07

Page 6 / 6